

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月31日

事業所名 児童発達支援センターきらり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題・解決すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> ・パーティション等を使用し、エリアのスペースを設けている。 ・コロナ禍の中、利用児の距離を保つためには訓練室のスペースが狭いように感じる。 ・活動内容に合わせて部屋を使う工夫をしている。 	
	2	職員の配置数は適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保育士1名以上、児童指導員3名、児童発達支援管理責任者1名配置している。 ・週のリーダーの他にスタッフが利用者の人数に対応できている。 	・職員配置についての説明は契約時に行っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・絵、写真、文字等のスケジュールや手順書を用い、視覚化を配慮した支援を行っている。 ・構造化環境はスペースが少し狭い為、その空間を十分に使用し、その特性に応じて配慮できている。 ・利用児の活動エリアに段差はない。 ・刺激につられやすい利用児が多い為、その日使用しない遊具や備品等を、収納できるスペースが欲しい。 	・一人ひとりの特性や状況に合った環境の工夫に向けて職員のスキルアップを目指す。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・常に衛生面には心掛け、掃除、机や遊具の消毒など日々行い活動内容に合わせた部屋の場所等配慮している。 ・活動前にトイレ、室内の掃除を行っている。 ・ねんどの部屋が汚れやすい為、ねんどの素材を変えるか、下に敷くもの等工夫が必要。 	今後も心地よい空間づくりに努めていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員で毎回、振り返りを行い、次に繋げている。 ・療育の後、それぞれの担当の子どもの気になった事をスタッフ全員で共有し、対応策を検討している。 ・出来る時間を見つけて支援会議を行っている。 	・会議の時間を工夫して取り、短時間で内容の濃い会議ができるよう、日頃の支援に対しそれぞれのスタッフが課題意識をもって取り組んでいくよう努める。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・半年ごとに保護者へ満足度を聞くようにしている。また年度末には評価シートを配布し、ご意見を頂いている。 ・年長さんグループの活動や外出行事等保護者の意見を頂き活動計画を行った 	・個別療育等において、保護者の思いを丁寧に関わり、課題を共有しながら取り組んでいく。 年長児については就学前に登校の準備やランドセルの扱いに慣れるよう用具を使っての体験学習を継続していく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で事業所評価について意見交換し改善点についても協議している。 ・ホームページに公開している。 	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・ホームページやline@などにより活動状況を発信し、多くの方からご意見を頂けるよう工夫している	・第三者評価による外部評価について、当法人で検討中
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども総合療育センターと連携し定期的に研修会を開催すると共に、関係機関との連携により内部研修等を実施している ・OT、PT、心理士による施設内研修を年5～6回行っている。 ・年に2回は他事業所より来所していただき、研修に参加している。 ・心理の先生や温泉病院の先生に研修を行ってもらっている。 ・新しいスタッフも入るので、身辺自立についての内部研修を重ねていく必要がある 	・心理士や療法士の方々との勉強会など、今後も積極的に計画していく。 ・今後も内部研修を重ねながらスキルアップに努めていきたい。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員と情報共有を図り、利用児の生活歴や保護者の思いなどを十分把握するよう努めている。 ・いろいろな角度から情報を収集し、課題の整理を行い、個別支援計画を作成している。 ・契約の時にニーズ表の項目に従って聞き取り、課題の把握に努めている。 	・相談支援事業所や保育園・幼稚園等との共通認識を持つために、更なる連携に努めていきたい。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・使用しています。(フェイスシート、チェックリスト、現在の状況と保護者ニーズ記入表)	

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○	児童発達支援ガイドラインに基づき、各分野における支援を行うため、一人一人の特性に合った支援計画を策定し支援を実施している。	・支援の見立てを丁寧に行うために支援会議を定期的開催している。具体的な支援内容について、心理士からも助言頂いている
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○	・支援計画に沿って、利用児各々に日々の活動における目標設定を行いその日のうちに振り返りを行うよう努めている。 ・日々のスタッフミーティングの中で、活動プログラムにおいてどの場面で目標に沿った支援を行うか確認し合い実践している。	・支援会議の中で、「サービス等利用計画書」に基づいた「個別支援計画」となるよう意見交換を行う。 ・その日の活動プログラムにおける目標設定を行い、実践していく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	・月初めに活動計画作成会議と、週1回の週案作成会議を行っている。 ・スタッフ間の情報共有の徹底に努めている。 ・毎月の会議で活動内容を決め、週案会議で内容を煮詰めている。	・会議日程を早期に定め、多くの職員が参加できるように配慮していく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	・年齢別や特性など個々の目標に合わせて内容を工夫している。 ・季節の活動を入れたり、施設外の活動を計画するなど工夫している。 ・其々の利用児に合った活動プログラムを立てている。 ・毎月季節に応じたプログラムを考えている。 ・活動内容が単調にならないように気を付けている。	・興味を持って取り組める活動内容に配慮し、週案や日々の活動スケジュールを作成する。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○	・個別療育における机上課題への取組やグループ療育における集団遊び、感覚統合プログラム等を計画に織り込んでいる。 ・子どもの目標や保護者のニーズに応じて支援計画を立てている。	・グループ療育で見える課題等について個別療育で丁寧に支援していく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	・前日に打ち合わせを行い、「その日の振り返り」と「翌日の支援内容の確認及び役割分担」などを行っている。 ・週案時や、その日の振り返り時、前日で行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	・送迎で参加できないときは、振り返りの内容を共有するようにしている。状況も変わりやすいので話し合いは必要と思う。 ・2週間前に週案会議を行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	・日々の支援記録を取り、モニタリングに繋がると共に、保護者に対しても情報提供し家庭との連携に努めている。	・変化があったことを附箋に書いて貼り付けモニタリングに活かしていく。 ・改善点など色を付けて記入するようにしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	・6ヶ月に1回はモニタリングを行い、支援計画の見直しを検討している。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	・児童発達支援管理責任者とケース担当者が参加している。 ・担当者会議も担当者で児童発達支援管理責任者で参加している。	・今後も継続して担当者会議の充実に向け取り組んでいきたい。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	市町村保健師や保育園・幼稚園等の支援者と情報共有し、連携した支援に努めている。	・コロナ禍で一同に集うことが困難な状況も否めないが、今後も関係機関と連携し、顔の見える関係づくりに取り組んでいきたい。	
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				今後、対象児が利用する場合のことを考え、医療機関をはじめ、関係機関との連携を図っていきたい。また、研修等受け入れ体勢整備に努めていきたい。
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	・療育センターとの連携により早期に移行支援に対応できている。 ・保育所等訪問支援や送迎時等、保育園・幼稚園等と情報共有を行い、相互理解に努めている。 ・コロナ禍で保育所等への訪問自粛を余儀なくされた。 ・就学前、園での様子を園の先生とサポートブック作成の協力をお願いしている。	・地域で安心して生活できるよう、継続して関係機関との連携に努めていきたい。	

関係機関や保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートブックを保護者と共に作成し、保護者を通して小学校・特別支援学校に提供していただいている。 ・サポートブックの内容の共通理解や、その後の様子等の連絡を取り、把握することも大切だと思う。 ・相談のスタッフ等と連携しています。 ・学校見学同行の希望があれば支援を行っている。 	・保護者や学校との連携を図り、意見をしっかりと聞きながら、継続して有効な支援を行っていききたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども総合療育センターの地域支援班の助言を受けている。 ・通所事業所連絡会議開催により情報共有や助言の場が出来た。 ・発達障害者支援センターの研修を年に数回研修を受けている。 ・年2回行っている。 ・コロナ感染予防の為、参加の機会が減った。 	今後も児童発達通所事業所の連絡会議を継続し、課題等に対し皆で意見交換をしていきたい。また、地域資源を活用し研修等の機会を確保していきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の家族療育で兄弟や家族と交流の機会を設けている。 ・コロナ感染予防の為、自粛している。 	コロナ感染拡大防止等への取組を踏まえながら、出来るだけ交流の機会を作っていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染予防の為、今回は参加できていない。 	・阿蘇圏域においても自立支援協議会「子ども部会」の設置に向け意見交換していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・単独療育においては連絡帳の利用、個別では振り返りの時間を設け状況を伝えあっている。必要時には電話で様子を伝えている。 ・個別療育を積極的に利用して頂き、園や家庭での様子を把握し様子を伝え共通理解している。 ・連絡帳や個別療育時、状況を伝え合い、共通理解を図っている。 ・緊急時は電話で連絡している。 	平日は保護者様との日程調整が困難な場合も多いため、土曜日を開所し個別療育(保護者同伴)の機会が提供出来るよう配慮している。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は子ども総合療育センターの支援を受け、家族支援について研修した。 ・個別療育時に振り返り、保護者の相談に対応し、助言を行っている。 	・家族療育にて、その都度、子どもの関わり方について援助等行っている。今後家族支援プログラムについても計画していく予定である。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明を行い、同意を頂いている。 	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画を立て終わった後に保護者に説明し、同意を得ている。 	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・家族療育では、保護者同士の相談、意見交換の場としても活用していただいている。 ・毎月必ず個別療育を利用して頂き、保護者の相談への助言を行っている。 ・個別療育時や電話、連絡帳で行っている。 	療育センターと連携し、子育て相談会等の実施に取り組んでいく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・家族療育時、保護者同士の交流が出来るよう計画をしているが、連携を支援するには至っていない。 ・家族療育を通して保護者同士の連携を図っている。 	・コロナ感染拡大防止への取組に配慮しつつ保護者同士の集まりについて検討していきたい。 ・現在は月1回の家族療育の場を活用している。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育や家族療育の場を利用し日頃の療育において、保護者の相談やご意見を伺っており、改善等が必要な場合は速やかに対応している。 ・必要に応じケース検討会を開いている。 	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月会報を発行し、活動中の写真や支援の方法を周知している。 ・毎月おたよりを送付している。 ・月のおたよりを発刊している。 	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・十分注意し、関係機関に提供するときは事前に保護者等より同意を得ている。 ・ライン@やおたより等に載せる場合は、顔が映らないようにし、保護者の承諾を得ている。 	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的支援等、配慮している。 	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域食堂を行っているがコロナで今年度は実施できなかった。 ・コロナ感染予防の為、招待等行っていない。 ・コロナ感染予防の為、自粛した。 	・コロナ感染拡大防止への取組に配慮しつつ地域の方々との交流について検討していきたい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月防災訓練と不審者訓練を行っているが、保護者に周知できるよう月のおたよりと利用予定表に載せている。 ・毎月、曜日や担当を変え行っている。 	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、火災訓練等、毎月1回実施している。 ・年1～2回は消防署に来ていただき総合訓練を行っている。 	・今後も地域の方々の理解を得ながら、継続して取り組んでいく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	アセスメント時に把握している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーのある子どもはいない。 ・事前に聞き取りをしている。 ・食事を提供する前にご家族に確認している。 	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の振り返りや定期の支援会議において、事例の共有・検討は行っている。 	・今後、事例集としてまとめる取り組みについて検討し、事故防止に努めていきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年内部研修会を開催している。 ・利用児の状況に常に注意をはらって園との情報共有を行っている。 	・気づきがあった時、速やかに報告できる体制を築き、適切な対応をしていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・該当者なし。 ・飛び出し等、危険性を伴う児について保護者との情報共有、状況説明等を行い、記載をすようになっている。 	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	16	1	1		・個別療育の利用人数が多い時は十分ではないと思う。 ・目が行き届くスペースで、うちの子どもは安心してます。 ・なるべく来年度も担当の方が変わらない方がありがたいです。	個別対応のスペースについては今後エリアを工夫して使い支援の充実に努めます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか。	16	1	1		・配置人数については不満があった。どの職員が急な休みになってもだれでもカバーできるようにしてほしい。 ・子どもの様子を見てると、すごく甘えていて心を開いているようです。	職員の急病等による休みでご迷惑をかけないよう、スタッフ間で支援プログラム及び事前準備についても共有していきます。
	3 生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	17	1			・エアトランポリンがあると先生の話は聞き取りづらい。 ・平屋ですと移動しやすく、新しい事業所ですとよく考えられた造りだと感じます。	活動中の会話については、本児と顔を合せながら視覚的情報を活用するなど工夫します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	18				・平屋ですと移動しやすく、新しい事業所ですとよく考えられた造りだと感じます。	
適切 な支 援の 提 供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	17	1			・職員による保育所訪問が1度しかなかった。 ・年齢に応じたグループを紹介くださり、体を動かすクラスを教えて下さり助かります。	コロナ禍で訪問自粛等もあり、ご迷惑をおかけしました。今後は保育園等との連携等に努め、適切な個別支援計画の作成に努めます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	17		1		・保育園での様子も把握した上で計画書作成した方がよい。 ・面談2回で問題を深掘りし、その後の確認作業もあるのできちんと設定なされていると思います。	保育園等関係機関との連携を十分図り課題の共有を行い、それぞれのお子様にあった個別支援計画の作成に努めます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	18				・個別療育の後、必ず確認いただいています。	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	16	1	1		・毎回楽しかったという声が聞かれます。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	11	4	2	1	・保育所がコロナで訪問が難しいのか園での困り事の対応が出来ず残念です。	
保 護 者 へ の 説 明 等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	18				・最初（見学时）と面談時など度々聞いております。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	18				・面談2回で問題を深掘りし、その後の確認作業もあるのできちんと設定なされていると思います。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）が行われているか。	15	3			・「こしたらいい」と教えてくれます。 ・うちは受けたことはありませんが、月1回あるのは予定表で見えています。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解が出来ているか。	18				・グループ療育での様子をこまめに連絡帳に書かれており、個別の時にまた、お話を聞かせて頂き助かります。 ・いつも細かく活動報告が書かれています。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	18				・相談を聞いていただいで助かっています。 ・アドバイスや支援に取り入れて頂いて助かっています。 ・個別の後にアドバイスを頂き、親は大変救われました。	
15 父母の会や活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	10	4	2	2	・仕事の都合で参加できていないが、開催されているのは知っている。 ・コロナで実現できていません。		

	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	16	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・年長への勉強会が2度しかなかった。 ・来月の予約を入れるのに直接なら早いですが、間接的にすると時間が掛かる。 ・適材な方を教えて頂いたり、必ず連絡はいただけている体制です。 	年長児グループの午後の利用及び土曜日の単独療育については子供たちの成長を把握し、就学への不安を軽減させるためにも良かったと感じています。今後回数を増やして計画していきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	17	1			<ul style="list-style-type: none"> ・親と先生の話の内容が本人に丸聞こえなのはいいのか？疑問に思う。 ・連絡帳か、電話はよくいただきます。 	関係機関等との情報共有については十分な配慮が必要です。今後周囲の状況等勘案し対応してまいります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の除法や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	15	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEの更新がされていない。 ・自己評価の意味が分かりませんでした。誰の？ 	自己評価については令和元年からホームページに掲載しております。周知が不十分で申し訳ありません。今後十分な説明を行ってまいります。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか。	18				<ul style="list-style-type: none"> ・ほかの方の実情も聞いたことはありません。 	
常時等の対	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	10	3	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・母子でも頂いておりますし、初めに説明を受けています。訓練も参加しています。 	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	12	2	4			
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか。	17	1			<ul style="list-style-type: none"> ・乗り物酔いの為、送迎に少し抵抗があります。いつもご対応ありがとうございます。 ・いつも楽しみにしています。 ・毎回楽しみにしており家庭ではなかなかさせてあげられない製作等、親としては有難いです。 ・毎回楽しみと言っています。その日は朝起きるのが早いです！ 	
	23	事業所の支援に満足しているか。	17	1			<ul style="list-style-type: none"> ・いつもお世話になっています。子どもの興味等に合わせて内容を考えてくださるので楽しく通えていると思います。 ・いつもお世話になっております。新年度4月からもグループ、個別等よろしく願いいたします。 ・日常の困り事の相談など親身になって対応して頂き頼りにさせていただいています。子どもも年々出来ることが増え、スキルアップしていると実感しておりとても満足しています。 ・利用できる日にちぎりぎりまで使いたいが、実際は出来ていない。もっと使いたかった。今の小学校に通学する前に力を延ばしてあげたいが、金曜日の利用は月1回しかなかった。 ・正直、親の成長という役割が大きいと感じていて大変ありがたいです。 	支給量を十分利用していただけるよう、今後も保護者様との日程調整等丁寧に行ってまいります。